

チーター

地上さいそくのハンター



チーターは黄色い毛に黒い点もようが美しい、
アフリカに生息するネコのなかまです。その走る
速さは、おどろきの時速百十キロ。高速道路を走
る車をおいぬくほどで、地上でいちばん速い動
物として知られています。細くてむだのない体は
とても軽く、風をきって草原をかけぬけます。

さらにおどろくのは、走り出しの速さです。

（ ） 、止まった所から、たった三秒で時速百キ
ロに達することが出来ます。このみごとな加速が
あるからこそ、すばやくにげるえものも、あっと
いう間においつめられるのです。

チーターの体は、速く走るための工夫がたくさ
んあります。長いしっぽをかじのように使い、走
りながら体の向きをすばやく変えます。足のつめ
は、ひっこまずに地面をつかむスパイクの役目を
果たします。また、ばねのように力強い後ろ足で
地面をけり、ぐんぐんスピードを上げていきま
す。

チーターがえものをおいかける時、体は上下左
右にはげしくゆれます。それでもねらいがぶれな
いように、三つの仕組みがあります。一つ目は、
しなやかなせねです。バネのようにしなって、
走るしようにぎをやわらげます。二つ目は長いし
っぽで、たくみにふって体のバランスをとり、頭
のゆれをおさえます。三つ目は、目の動きです。
頭が動いても目が反対にすっと動き、いつも同じ
所を見つめ続けます。こうして視線を安定させ、
えものをとらえるのです。

せんたく(1)

走り出しの速さは、どれくらいですか？

選んで○をつけましょう。

①三秒で時速百キロになる

②十秒でやっと動き出す

③ゆっくりと加速する

せんたく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

①しかし

②なんと

③そのため

きじゅつ(1)

走るとき、何を使って体の向きを変えますか？

きじゅつ(2)

しなやかなせねは、何の役に立ちますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1)りょうり

(2)りよかん

(3)はしら

ラーテル

世界一のかわいいもの知らず



ラーテルは、アフリカやアジアの草原に住む、イタチの仲間です。体の長さは七十センチほどで、それほど大きくありません。ところがこのラーテル、『世界一かわいいもの知らず』としてギネスブック（すごい記録を集めた本）にもものっているほど、とても勇気があるのです。自分よりずっと大きなライオンやヒョウにも、ひるまず立ち向かっていきます。

ラーテルの好物は、なんとどくへびです。世界一きけんといわれるコブラにもおそれず、かみついて食べてしまいます。（ ）、時にはかまれてどくが体に回り、たおれてしまうこともあります。ふつうの動物なら命を落とすほどのどくでも、ラーテルの体はもともとどくに強い体しつなので、しばらくするとケロリと目を覚まし、また平気で動きだすのです。

ラーテルが強い理由は、体の皮にもひみつがあります。ぶあつくてゆるゆるの皮は、てきにかみつかれても、体をくるりとねじって、ぎやくに相手にかみつくことができるのです。ハチのするどいはりも、この皮はなかなか通しません。

さらにラーテルは、とてもかしい動物です。石や木のえだを道具のように使い、高い所のえものをとることもあります。動物園では、かぎを開けてにげ出そうとしたこともあります。小さな体に強さとかしこさをあわせ持つ、まさに『かわいいもの知らず』の王様です。

せんたく(1)

何が世界一だといわれていますか？

選んで○をつけましょう。

① かわいいもの知らず

② 足のはやさ

③ 体の大きさ

せんたく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

① だから

② さらに

③ しかし

きじゅつ(1)

ラーテルの好物は、どんな生き物でしょうか？

きじゅつ(2)

なぜどくへびにかまれても平気なのでしょう？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) れんしゅう

(2) やね

(3) ぎん

カンガルーネズミ

さばくの名ジャンパー



カンガルーネズミは、アメリカのかわいたさばくに住む、体長十センチほどの小さな動物です。名前にカンガルーとつくのは、大きな後ろ足で、カンガルーのようにピョンピョンとジャンプして進むからです。そのジャンプ力はおどろくほどで、一回で体の二十倍・二メートル近くも飛べるのです。しっぽの先の黒と白のふさふさの毛は、ジャンプのバランスをとるのに役立ちます。

カンガルーネズミのすごいところは、水を一ても飲まないで生きられることです。雨のほとんどふらないさばくでは、水はなかなか手に入りません。【カンガルーネズミは、食べた種から体の中で自ら水を作り出し、そのわずかな水分だけで生きていけるのです。さらに、おしっこをとるでもこくして、体内の水分をのがさない仕組みも持っています。

また、ほおの内側には「ほおぶくろ」というふくろがあります。ここに種をいっばいつめて運び、すずしい地下の巣あなにたくわえるのです。暑い昼の間は巣あなでゆっくり休み、日がしずんだ夜になると、種をさがしに出かけます。

さばくには、ガラガラヘビというおそろしいてきがあります。しかしカンガルーネズミは、ヘビが飛びかかる音をすばやく感じ取り、ジャンプで身をかわします。さらに、後ろ足でヘビにすなをけりかけて、追いはらうこともあるのです。小さな体にすごいわざをつめこんだ、さばくの名ジャンパーです。

せんたく(1)

どのように水を手に入れますか？

選んで○をつけましょう。

①雨水をためて飲む

②食べた種から体の中で水を作る

③川まで行って水を飲む

せんたく(2)

文しょうの()に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

①しかし

②たとえば

③そこで

きじゅつ(1)

さばくにいる、おそろしいときは何ですか？

きじゅつ(2)

しっぽの毛は、何の役に立ちますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1)せかい

(2)びょういん

(3)ゆび

ホッキョクグマ

北極の白い王様



ホッキョクグマは、北極の氷の上でくらす、世界で一番大きなクマです。立ち上がると三メートルをこえ、重さは五百キログラムにもなります。今、地球には二万頭ほどしかない、大切な動物のひとつです。

まっ白な毛には、おどろきのひみつがあります。――、その毛は白いのではなく、とうめいなのです。毛の中はストローのように空っぽで、光を通しやすいため、白くかがやいて見えます。さらに、その空っぽの毛には空気がたまり、体の熱をにがしくしています。毛の下のひふは黒く、太陽の光の熱をたっぷり集めて、こごえるような寒さから体を守ってくれるのです。

ホッキョクグマは、泳ぎの名人でもあります。大きな前足で水をかき、何時間も泳ぎ続けることができます。小さくて丸い耳は、泳ぐ時に水が入りにくいようになっています。百キロメートル以上はなれた氷まで泳いだ記録もあり、『海のクマ』とよばれるほどです。

かりの時にたよりになるのが、するどい鼻です。一キロメートル先のえものや、あつい氷の下にいるアザラシのにおいまで、かぎ分けるといわれます。そして、氷にaitaアザラシの息つぎのあなを見つけると、その前で何時間もじっと待ち続けます。白い体で雪にとけこみ、しずかにえものをねらう、北極一のハンターなのです。

せんとく(1)

『海のクマ』とよばれるのは、なぜですか？

選んで○をつけましょう。

- ① 海の中でくらしているから
- ② 何時間も泳ぎ続けられるから
- ③ 海の魚をたくさん食べるから

せんとく(2)

文しょうの（ ）に入る言葉はどれですか？

選んで○をつけましょう。

- ① なんと
- ② しかし
- ③ だから

きじゅつ(1)

まっ白に見える毛は、本当は何色ですか？

きじゅつ(2)

アザラシをねらうとき、何の前でじっと待ちますか？

漢字

漢字に直して書きましょう。

(1) ようぶく

(2) はこ

(3) はし

チーター

せんたく (1) ① (2) ②

きじゅつ (1) 長いしっぽ (2) バネのようにになって、走るしゅつげきを
をやわらげる。

かん字 (1) 料理 (2) 旅館 (3) 柱

ラーテル

せんたく (1) ① (2) ③

きじゅつ (1) どくへび (2) 体かもとどくに強くできているから。
かん字 (1) 練習 (2) 屋根 (3) 銀

カンガルーネズミ

せんたく (1) ② (2) ③

きじゅつ (1) ガラガラへび (2) ジャンプのバランスをとるのに役立
つ。

かん字 (1) 世界 (2) 病院 (3) 指

ホッキョクグマ

せんたく (1) ② (2) ①

きじゅつ (1) とうめい。 (2) 息つぎのあな。
かん字 (1) 洋服 (2) 箱 (3) 橋